



「トリートメント・ギャップ」の解消を目指す!

基本知識・技術を知り、かかわる意欲を高め、実践できる依存症回復支援研修
～ソーシャルワークベース～



「もしかしたら依存症かもしれない。どのようにかかわったらいいのだろう」
「かかわりたいけど一人では難しい」と、現場で悩んだり困ったりしてませんか?

依存症は、自分自身も身近な周囲も病気とわかりにくい、慢性で進行性の病です。健康問題、貧困、家庭不和、自死、虐待などの社会的問題を背景とする生きづらさなどから、依存対象に頼らざるをえなくなり、いつの間にかコントロールが効かなくなってしまうものです。深刻化する前に少しでも早く気づき、治療や支援につながる必要があります。しかし現状は、支援者でさえも「見ようとしないと見えない」問題であることから、治療に繋がっている人は少なく、繋がるタイミングも遅くなりがちです。

【研修の目的】

このような「トリートメント(治療・支援)・ギャップ」の解消を目指し、都道府県等における依存症の支援に必要な人材養成を推進し、都道府県等において指導的な役割を果たす専門家を養成することです。

【研修の到達目標】

アルコール・薬物・ギャンブル・ゲームを中心とする依存症全般の基本的な知識やソーシャルワークをベースにした早期発見・早期介入の支援技術を知り、かかわる意欲を高め、実践できるようになることです。

令和5年度も、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会が依存症対策全国センターより受託し、
ソーシャルワーカー5団体が合同で主催します。

【研修日時】 オンデマンド視聴研修：2023年11月6日(月)～2024年2月3日(土)12時59分迄

オンラインライブ演習：2024年2月3日(土)13:00-16:00～2月4日(日)10:00-16:30

【実施方法】 Zoomによるオンライン研修 【研修プログラム】(裏面参照) 【定員】100名 【受講料】無料

【研修対象】 医療従事者(社会福祉士*、精神保健福祉士*、作業療法士、看護師、公認心理師等)、医療従事者以外のソーシャルワーカー※ 【※主催団体の会員以外の方も応募可】

【お申し込み資格】

- ①現在、現場で依存の課題を持つ患者、利用者、家族などにかかわっている、関わる可能性が高いこと。(特に、依存の支援環境が整っていない場に身を置いている)
- ②オンデマンド視聴研修の受講完了後オンラインライブ演習を受講できること
- ③研修前後に実施する効果測定(事前・事後課題、アクションプランなど)に協力できること

【受講決定について】

定員を超えた場合は、地域のバランスや職種・受講動機などを考慮して受講者を選考いたします。選考結果は、受付締切り後2週間以内にメールで通知します。

*メールを受信できるようにあらかじめ設定をお願いします。

【お申し込み方法】 *個人情報、本研修に関わる以外には使用しません。

日本医療ソーシャルワーカー協会ホームページ(URL、二次元コード)からお申し込みください。
https://www.jaswhs.or.jp/education/workshop_list.php



【お申し込み期間】

A：8月21日(月)～9月20日(水)23時59分迄

日本ソーシャルワーカー協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、その他(医師以外の医療従事者)

B：9月11日(月)～10月10日(火)23時59分迄

日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、日本精神保健福祉士協会、日本社会福祉士会

*各団体の広報日程のタイミングが異なることから、できるだけ公平にお申し込みいただけますよう、A・B日程の2つを設定しました。

*複数団体に所属されており、A・B日程に該当する場合は両方にお申込できます。

◆受託団体：公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会

◆企画・主催：汎用性の高い依存症支援の修得を目指すソーシャルワーカー関係団体協議会

(一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会)

【受講に必要な準備】

- ・インターネット環境（Wi-Fiではなく有線の回線を**推奨**）
- ・Zoomをインストールした、もしくはインストール可能なパソコン（**必須**）
- ・ヘッドセットまたはマイク付きイヤホン（ヘッドセット**推奨**・PC内蔵マイクも可）
- ・WebカメラまたはPC内蔵カメラ（**必須**）



【修了証書】

研修修了者には修了証書を授与します。

*所定時間を受講されていない方は、修了証書を交付できませんのでご注意ください。

*通信環境等により、研修の一部又は全部が受講できない場合、修了証が発行できない場合があります。このようなリスクを踏まえた上でご参加することを予めご了承ください。

【お問合せ先】

日本医療ソーシャルワーカー協会 事務局

電話：03-5366-1057（平日の10時～16時） メールアドレス：jaswhc@d3.dion.ne.jp

【オンデマンド視聴研修プログラム概要】

	内容	時間(分)	講師(予定)
1	アディクションSW総論	(165)	
	①社会的問題とアディクションSW	30	稗田 里香(武蔵野大学)
	②依存症の医学的理解	90	松本 俊彦(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター)
	③対象者理解	45	岡村 真紀(高嶺病院)
2	アディクションSW総論(回復支援)	45	板倉 康広(日本福祉教育専門学校)
3	アディクションSW各論	(220)	
	①アルコール依存	60	松浦 千恵(安東医院)
	②薬物依存	60	永尾 奈生実(赤城高原ホスピタル) 引土 絵未(日本女子大学)
	③ギャンブル等依存	60	阿部 誠(雷門メンタルクリニック)
	④ゲーム依存(本人、家族)	40	前園 真毅(久里浜医療センター)
4	アディクションと家族	(100)	
	①家族介入	50	高橋 陽介(久里浜医療センター)
	②包括的な家族問題の理解と支援	50	山本 由紀(国際医療福祉大学)

【オンラインライブ演習プログラム概要】

2月3日(土) 13:00～16:00 (180分)		
1	回復の体験を聴き回復を信じることができる～依存の回復の語りとグループワーク	コーディネーター：上堂 蘭 順代(アルコール依存症当事者・ASK依存症予防教育アドバイザー) 薬物依存症当事者、ギャンブル依存症当事者、依存症当事者のご家族、ゲーム依存症当事者
2月4日(日) 10:00～16:30 (330分)		
2	回復支援を始める～グループワークによる事例検討	コーディネーター：白田 幸輝(若宮病院) 企画：MH SW協会依存症及び関連問題対策委員会
3	それぞれの現場にある依存症支援の実情を共有する～シンポジウム(SW5団体)	コーディネーター：岡崎 直人(日本福祉教育専門学校)
4	現場でできるアクション・プラン(実践目標)をたてる	佐原 まち子(WITH医療福祉実践研究所)、稗田 里香

【ソーシャルワーカー団体が開催する依存症研修のご案内】

- 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会
<http://www.j-asw.jp/>
アルコール依存症回復支援講座



- 日本社会福祉士会
<https://www.jacsw.or.jp/csw/eLearning/>
(Eラーニング講座) 依存症(アディクション)における対象者理解と家族の支援



- 日本精神保健福祉士協会
<https://www.jamhsw.or.jp/>
(学生対象)アディクション・オープンゼミナール2023



- 日本医療ソーシャルワーカー協会
<https://www.jaswhs.or.jp/?dm=true#kenshukai>
一般医療機関における依存症リカバリーソーシャルワーク研修

